

調査名 全国就業実態パネル調査(臨時追跡調査), 2021

寄託者(寄託時) リクルートワークス研究所

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認下さい。

回答形式	質問番号	選択肢番号	質問文/コメント/選択肢/小見出し	その他テキスト	排他	表示条件(回答対象)
			<p>本アンケートは、リクルートワークス研究所（株）リクルートの研究機関から委託を受け実施しております。</p> <p><調査目的></p> <p>・今回のアンケートは、「全国就業実態パネル調査」の一環として、就労状況や労働環境への新型コロナウイルス（COVID-19）流行による影響を把握・分析するために実施します。</p> <p>※「全国就業実態パネル調査」とは・・・リクルートワークス研究所が実施する、生活や働きかたの実態を把握し、一人一人が生き生きと働ける社会づくりのための基礎資料として活用される調査です。 リクルートワークス研究所：http://www.works-i.com/</p> <p>・今回のご回答結果は、リクルートワークス研究所のみでなく産官学全体で連携し、新型コロナウイルス影響下における就労状況や労働環境の改善施策立案・取り組みを推進していくための有用なデータとして活用させていただきます。</p> <p>設問には、以下の内容が含まれます。</p> <p>・新型コロナウイルス（COVID-19）流行による給与や雇用状況の変化</p> <p>該当の設問には内容により「答えたくない」という選択肢を含み、ご回答いただける質問のみにお答えいただく形となります。</p> <p>なお、ご回答いただいた内容によって、個人が特定されることはありません。 アンケートの回答はすべて個人が特定できないよう処理をしたうえで使用させていただきます。</p>			
SA	Q1		あなたの性別をお答えください。 (回答は1つ)			全員(ALL)
		1	男性			
		2	女性			
NA	Q2		あなたの年齢をお答えください。 (回答は半角数字で入力) () 歳			全員(ALL)
SA	Q3		2020年12月時点についていた仕事についてお聞きます。 2021年1月以降に、転職もしくは退職しましたか。 (回答は1つ)			JPSED2021:Q17=1-6 (昨年12月時点就業者(休業者含む))
		1	転職した・仕事を辞めて別の仕事に就いた			
		2	退職した(そのあと、仕事に就いていない)			
		3	転職・退職はしていない			
			2回目の緊急事態宣言(11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日)のもとのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA	Q4		この期間に仕事をしましたか。もっともあてはまる状況を1つお選びください。 (回答は1つ)			全員(ALL)
			※ここで「仕事をしていた」とはこの期間に1時間以上仕事をしていた場合を言います。 ※仕事とは、収入をとまらぬ(見込みも含む)仕事をいい、自家営業(個人経営の商店や農業など)の手伝いや内職も含めます。 ※「仕事を休んでいた」とは、雇われていた、もしくは自分で営む事業や仕事があったが、 少しも 仕事をしなかった場合を言います。 ※「仕事を探していた(開業準備を含む)」には、以前に求職活動をして、その結果を待っている場合も含めます。			
			小見出し (少しでも仕事をした場合)			
		1	通常と同じ日数で、仕事をしていた			
		2	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、通常より少ない日数で、仕事をしていた			
		3	新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく、通常より少ない日数で、仕事をしていた			
		4	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、通常より多い日数で、仕事をしていた			
		5	新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく、通常より多い日数で、仕事をしていた			
			小見出し (少しも仕事をしなかった場合)			
		6	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、仕事を休んでいた			
		7	新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく、(出産・育児、介護、疾病などを理由に)仕事を休んでいた			
		8	仕事を探していた(開業準備を含む)			
		9	家事・育児をしていた(どこにも勤めていない)			
		10	介護をしていた(どこにも勤めていない)			
		11	その他(どこにも勤めていない)			
		12	答えたくない			
			2回目の緊急事態宣言(11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日)のもとのあなたの働き方についてお伺いします。			
	Q5		この期間、あなたの仕事に関して変化したことについて、あてはまるものをお選びください。 (回答はいくつでも)			全員(ALL)
			小見出し (就業状態)			
		1	解雇された			
		2	自己都合で離職した			
		3	廃業した			
			小見出し (働き方)			
		4	職場からテレワークを推奨された			
		5	職場から時差出勤を推奨された			
		6	職場から自宅待機を要請された			
		7	職場から勤務日数・時間の縮小を要請された			
		8	早朝・深夜の勤務が増えた			
		9	勤務時間が柔軟に選べるようになった(フレックスタイムなど)			
		10	副業を始めた			
		11	副業の時間を増やした			
		12	あてはまるものはない		排他	
		13	答えたくない		排他	

回答形式	質問番号	選択肢番号	質問文/コメント/選択肢/小見出し	その他テキスト	排他	表示条件 (回答対象)
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA	Q6		この期間にあなたが解雇、離職、または廃業した理由は何ですか。 (回答は1つ) 1 コロナウイルス感染症の影響 2 コロナウイルス感染症とは関係のない理由 3 答えたくない			臨時追跡調査2021:Q5=1-3 上の設問で、1解雇された、2自己都合で離職した、3廃業した、のいずれかを選択
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
NA	Q7		この期間についていた仕事における平均的な1週間の総労働日数と総労働時間はどれくらいでしたか。			臨時追跡調査2021:Q4=1-7 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む)
			※残業時間 (サービス残業も含む) はカウントし、通勤時間、食事時間、休憩時間は除きます。 ※回答例: 毎日9時から17時まで、休憩1時間で週5日働くと、7×5=35時間です。 ※アルバイトを2箇所で行っているなど、複数の勤務先で仕事をしている場合は、主な勤務先での仕事時間でお答えください。 ※「1」日単位、「1」時間単位でお答えください。 (回答は半角数字で入力) 週に () 日 週に 合計で () 時間			
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA	Q8		あなたは、この期間にどれくらいテレワークを行っていましたか。 テレワークとは、自宅やサテライトオフィス、カフェ・ファミリーストランのように、職場 (自社および客先) 以外の場所で働くことを指します。 (回答は半角数字で入力) ※テレワークを全く行わなかった場合は、「0時間」とお答えください。 週に 合計で () 時間			臨時追跡調査2021:Q4=1-7 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む) 3ケタ: 0-168時間
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA	Q9		この期間に、1週間あたり「終日」テレワークで勤務した日数は、おおよそどれくらいありましたか。 (回答は1つ) ※終日ではなく、半日や数時間テレワークで勤務した日については、テレワークで勤務した日数に含めずにお答えください。 1 まったくない (0日) 2 1日 3 2日 4 3日 5 4日 6 5日かそれ以上			臨時追跡調査2021:Q4=1-7 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む)
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA	Q10		この期間にテレワークをしなかった人にお伺いします。 テレワークをしなかった理由は何ですか。 (回答は1つ) 1 職場でテレワークが認められていないため 2 職場でテレワークが認められているが、対応できない業務のため 3 職場でテレワークが認められているが、職場で仕事をしたいため			臨時追跡調査2021:Q8が0のひと=テレワークしていない人、テレワーク時間での分岐、かつQ4が1~5 (就業者、休業者を含まない)
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) のもとでのあなたの職場についてお伺いします。			
SA	Q11		この期間、あなたの職場において、1日あたりのテレワークで勤務している人の割合は、おおよそどれくらいでしたか。 (回答は1つ) 1 ほぼいない (0%) 2 10%未満 (1~9%) 3 10%以上25%未満 4 25%以上50%未満 5 50%以上80%未満 6 80%以上 7 ほとんど全員 (100%テレワーク)			臨時追跡調査2021:Q4=1-7 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む) ※追加調査2021の条件とあわせた表示条件
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA	Q12		昨年の緊急事態宣言の時 (2020年4月16日から、一部の地域で解除された5月14日)、あなたの職場において、1日あたりのテレワークで勤務している人の割合は、おおよそどれくらいでしたか。 1 ほぼいない (0%) 2 10%未満 (1~9%) 3 10%以上25%未満 4 25%以上50%未満 5 50%以上80%未満 6 80%以上 7 ほとんど全員 (100%テレワーク)			前回の臨時追跡調査2020:Q7=1-7(1回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む))

回答形式	質問番号	選択肢番号	質問文/コメント/選択肢/小見出し	その他テキスト	排他	表示条件 (回答対象)
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA7HJK	Q13		この期間における、あなたの仕事に関する以下の項目について、どれくらいあてはまりますか。 (回答は1つ) 表側 (1) 単調ではなく、様々な仕事を担当した 表側 (2) 業務全体を理解して仕事していた 表側 (3) 社内外の他人に影響を与える仕事に従事していた 表側 (4) 自分で仕事のやり方を決めることができた 表側 (5) 自分の働きに対する正当な評価を得ていた 1 あてはまる 2 どちらかというあてはまる 3 どちらともいえない 4 どちらかというあてはまらない 5 あてはまらない			臨時追跡調査2021:Q4=1-5 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含まない)
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
NA	Q14		この期間、仕事時間の全体を100とした場合に、あなたは以下の項目のそれぞれにどれくらいの時間をかけていましたか。(残業時間(サービス残業も含む)は含み、通勤時間、食事時間、休憩時間は除きます) (回答は半角数字で入力) ※手待ち時間は、作業をしているわけではないものの、指示があれば、あるいは仕事しなければならぬ状況に至った場合には、すぐに作業をすることができるよう待機している時間をいいます(例: 上司の決裁や指示待ち、タクシー運転手の客待ち、宅配業務における荷物の到着待ちなど)。 1 本来の担当業務で成果と直結している仕事 () % 2 周辺的な雑務 () % 3 待機や客待ち等の手待ち時間 () % 合計 100 %			臨時追跡調査2021:Q4=1-5 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含まない)
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA	Q15		この期間、あなたは、職場から休業の要請をされましたか。 (回答は1つ) 1 要請されて休業した 2 要請されたが休業しなかった 3 要請されていない 4 答えたくない			臨時追跡調査2021:Q4=1-7 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む)
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) の期間に休業をした」とお答えの方にお伺いします。			
NA	Q16		この期間、職場から要請をされて休業した日は、おおよそ何日ありましたか。 ※在宅での勤務は休業に含みません。 (回答は半角数字で入力) 2021年 1月14日～2月7日の25日間のうち おおよそ () 日			臨時追跡調査2021:Q15=1 (要請されて休業した)
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) の期間に休業をした」とお答えの方にお伺いします。			
SA	Q17		休業期間中、あなたは勤め先から休業手当をもらいましたか。 (回答は1つ) 1 受け取った 2 受け取っていない			休業要請による休職者 臨時追跡調査2021:Q15=1
			2回目の緊急事態宣言 (11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日) のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA	Q18		新型コロナウイルス感染拡大前の一昨年(2019年) 12月と比較して、2回目の緊急事態宣言の期間中(11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日)、あなたの仕事の生産性(時間当たりのはかどり具合、効率)は、どのように変化しましたか (回答は1つ) 1 とても上昇した 2 上昇した 3 変化していない 4 低下した 5 とても低下した			JPSED2021:Q17=1-6 (昨年12月時点就業者(休業者含む)かつ、 臨時追跡調査2021:Q4=1-5 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含まない) ・昨年12月時点で休業しているも、2回目の緊急事態宣言の期間で復帰している可能性があるため、 12月時点は休業者を含む ※ 臨時追跡調査2020と条件をそろえている

回答形式	質問番号	選択肢番号	質問文/コメント/選択肢/小見出し	その他テキスト	排他	表示条件 (回答対象)
			2回目の緊急事態宣言（11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日）のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA	Q19		<p>昨年の緊急事態宣言時（2020年4月16日から、一部の地域で解除された5月14日）と比較して、2回目の緊急事態宣言（11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日）のもとでのあなたの仕事の生産性（時間当たりのはかどり具合、効率）は、どのように変化しましたか</p> <p>(回答は1つ)</p> <p>1 とても上昇した</p> <p>2 上昇した</p> <p>3 変化していない</p> <p>4 低下した</p> <p>5 とても低下した</p>			<p>臨時追跡調査2020:Q7=1-5 (1回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含まない))かつ 臨時追跡調査2021:Q4=1-5 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含まない)</p> <p>※前回の緊急事態宣言かで少しでも働いている (休業者含まない) 、今回も働いている (休業者含まない)</p>
			2回目の緊急事態宣言（11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日）のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA7リスト	Q20		<p>この期間の、あなたの仕事に関する以下の項目について、どれくらいあてはまりますか。</p> <p>(回答は1つ)</p> <p>表側 (1) 仕事そのものに満足していた</p> <p>表側 (2) 職場の人間関係に満足していた</p> <p>表側 (3) 仕事を通じて、「成長している」という実感を持っていた</p> <p>表側 (4) 今後のキャリアの見通しが開けていた</p> <p>表側 (5) 生き生きと働くことができていた</p> <p>1 あてはまる</p> <p>2 どちらかというあてはまる</p> <p>3 どちらともいえない</p> <p>4 どちらかというあてはまらない</p> <p>5 あてはまらない</p>			<p>臨時追跡調査2021:Q4=1-7 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む)</p>
SA	Q21		<p>新型コロナウイルス感染拡大前の一昨年（2019年）12月と比較して、今年1月の収入は、どう変化しましたか。あてはまるものをお選びください。</p> <p>※補助金による収入は含みません</p> <p>(回答は1つ)</p> <p>1 81%以上減った</p> <p>2 61～80%減った</p> <p>3 41～60%減った</p> <p>4 21～40%減った</p> <p>5 11～20%減った</p> <p>6 ～10%減った</p> <p>7 変化なし</p> <p>8 ～10%増えた</p> <p>9 11～30%増えた</p> <p>10 31%以上増えた</p> <p>11 給与は支払われなかった</p> <p>12 答えたくない</p>			<p>JPS2021:Q17=1-6 (昨年12月時点就業者 (休業者含む))かつ Q4=1-7 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む)</p>
SA	Q22		<p>昨年5月の緊急事態宣言下の労働収入に比べて、今年1月の緊急事態宣言下のあなたの労働収入はどうか変化しましたか。</p> <p>※補助金による収入は含みません</p> <p>(回答は1つ)</p> <p>1 81%以上減った</p> <p>2 61～80%減った</p> <p>3 41～60%減った</p> <p>4 21～40%減った</p> <p>5 11～20%減った</p> <p>6 ～10%減った</p> <p>7 変化なし</p> <p>8 ～10%増えた</p> <p>9 11～30%増えた</p> <p>10 31%以上増えた</p> <p>11 給与は支払われなかった</p> <p>12 答えたくない</p>			<p>臨時追跡調査2020:Q7=1-7 (1回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む))かつ 臨時追跡調査2021:Q4=1-7 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む)</p> <p>※1回目と2回目の緊急事態宣言の両方で就業者 (休業者含む)</p>

回答形式	質問番号	選択肢番号	質問文/コメント/選択肢/小見出し	その他テキスト	排他	表示条件 (回答対象)
			2回目の緊急事態宣言（11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日）のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA7Hリカ	Q23		この期間の、あなたの職場について、次のことがどれくらいあてはまりますか。 (回答は1つ)			臨時追跡調査2021:Q4=1-7 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む)
		表側	(1) 処理しきれないほどの仕事であふれていた			
		表側	(2) 性別・年齢・国籍・障がいの有無・雇用形態によって差別を受けた人を見聞きしたことがあった			
		表側	(3) パワハラ・セクハラを受けたという話を見聞きしたことがあった			
		表側	(4) 労働者の利益を代表して交渉してくれる組織がある、あるいは、そのような手段が確保されていた			
		表側	(5) 身体的な怪我を負う人が発生した			
		表側	(6) ストレスによって、精神的に病んでしまう人が発生した			
		表側	(7) 職場の業績・パフォーマンスが出ている			
			1 あてはまる			
			2 どちらかというあてはまる			
			3 どちらともいえない			
			4 どちらかというあてはまらない			
			5 あてはまらない			
			2回目の緊急事態宣言（11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日）のもとでのあなたの状態についてお伺いします。			
SA	Q24		この期間の、あなたの生活全般について、どの程度満足していましたか。 (回答は1つ)			全員(ALL)
			1 満足していた			
			2 まあ満足していた			
			3 どちらともいえない			
			4 どちらかといえば不満であった			
			5 不満であった			
			2回目の緊急事態宣言（11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日）のもとでのあなたの働き方についてお伺いします。			
SA	Q25		この期間の平均的な1日において、お仕事がある日の家事・育児に、どのくらい時間をかけていましたか。 ※1時間の場合は「1時間0分」、30分の場合は「0時間30分」などと、時間と分、両方をお選びください。 ※「家事・育児」を全くしなかった場合は、「0時間0分」とお答えください。 (回答は1つ)			臨時追跡調査2021:Q4=1-5 臨時追跡調査2021時点の就業者 (休業者含まない)
			家事・育児			
		1	働いていた日 () 時間 () 分 / 1日あたり			
			2回目の緊急事態宣言（11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日）のもとでのあなたの状態についてお伺いします。			
SA	Q26		この期間、あなたはご自分の仕事と家庭生活の両立についてストレスを感じましたか。 (回答は1つ)			臨時追跡調査2021:Q4=1-7 2回目の緊急事態宣言のもとでの就業者 (休業者含む)
			1 強く感じていた			
			2 感じていた			
			3 少し感じていた			
			4 感じていなかった			
			5 全く感じていなかった			
			2回目の緊急事態宣言（11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日）のもとでのあなたの状態についてお伺いします。			
SA7Hリカ	Q27		この期間のあなたの状態についておたずねします。もっともあてはまるものをお選びください。 (回答は1つ)			全員(ALL)
		表側	(1) 頭痛やめまいがする			
		表側	(2) 背中・腰・肩が痛む			
		表側	(3) 動悸や息切れがする			
		表側	(4) ひどく疲れている			
		表側	(5) 気がはりつめている			
		表側	(6) ゆううつだ			
		表側	(7) 食欲がない			
		表側	(8) よく眠れない			
			1 いつもあった			
			2 しばしばあった			
			3 少しあった			
			4 ほとんどなかった			
			5 全くなかった			
			2回目の緊急事態宣言（11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日）のもとでのあなたの配偶者についてお伺いします。			
SA	Q28		あなたの配偶者（事実婚を含む）は、この期間、テレワークを行っていましたか。 ※テレワークとは、自宅やサテライトオフィス、カフェ・ファミリースタランのように、職場（自社および客先）以外の場所で働くことを指します。 (回答は1つ)			JPSED2021：配偶者あり（Q9=1）
		小見出し	配偶者がいる			
		1	配偶者はテレワークを行っていた			
		2	配偶者はテレワークを行っていなかった			
		3	配偶者は、この期間働いていなかった			
		小見出し	配偶者がいない			
		4	配偶者はいない			
		小見出し	わからない			
		5	わからない			

回答形式	質問番号	選択肢番号	質問文/コメント/選択肢/小見出し	その他テキスト	排他	表示条件 (回答対象)
			配偶者がいる方へ、2回目の緊急事態宣言（11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日）のもとの配偶者の状態についてお伺いします。			
MA	Q29		この期間、配偶者（事実婚を含む）の働き方・生活に関して変化したことについて、あてはまるものをお選びください。 （回答はいくつでも）			JPSED2021：配偶者あり（Q9=1）
			（就業状態）			
		小見出し	1 配偶者が解雇された			
			2 配偶者が自己都合で離職した			
			3 配偶者が廃業した			
		小見出し	（働き方）			
			4 配偶者が職場からの要請を受けて、休業・自宅待機をしていた			
		小見出し	（スペース）			
			5 配偶者はいない		排他	
			6 あてはまるものはない		排他	
			7 答えたくない		排他	
			中学生以下のお子様がいる方へ、2回目の緊急事態宣言（11都府県が対象になった2021年1月14日から2月7日）のもとのお子様の状態についてお伺いします。			
MA	Q30		この時期のあなたの同居している中学生以下のお子様の状態について、あてはまるものすべてをお選びください。中学生以下のお子様複数いる場合は、一人でもあてはまれば、お選びください。			JPSED2021：子どもあり（Q10=1）、かつ子ども年齢15歳以下（Q12のいずれかの入力値が15以下（一人でも当てはまれば表示））
			（回答はいくつでも）			
			1 ほとんど自宅にいた			
			2 幼稚園・保育園が休園になった、または登園の自粛を求められて休んだ			
			3 保育園・幼稚園で子どもを預けられる時間、曜日、日数が制限された			
			4 学校が休校になった			
			5 学校に分散登校・時差通学をした			
			6 学校でオンライン授業があった			
			7 あてはまるものはない		排他	
			8 同居している中学生以下の子どもはいない		排他	
SA	Q31		一人当たり10万円の特種定額給付金（2020年5月頃～11月頃に支給）を使用しましたか。 注1：ご家族がいっしょの場合は家族全員分の給付金でお考えください。 注2：使用には寄付なども含まれます。また投資に回した場合は貯蓄になります。			全員(ALL)
			（回答は1つだけ）			
		小見出し	給付金を受け取った			
			1 全額使用した			
			2 半分以上使用した			
			3 半分未満使用した			
			4 全く使用しなかった（全額貯蓄した）			
		小見出し	給付金を受け取っていない			
			5 受け取っていない・わからない			
SA	Q32		仮に特別定額給付金を受け取らなかった場合と比較すると、受け取った場合の消費はどうか変化していたと思いますか。			臨時追跡調査2021:Q31=1-3 サンプル制限 = 上の質問で1、2、3)
			（回答は1つだけ）			
			1 増加した			
			2 変化しない			
			3 減少した			
SA	Q34		今後のあなた自身の雇用について不安を感じていますか。			臨時追跡調査2021:Q4=1-7 2回目の緊急事態宣言のもとの就業者（休業者含む）
			（回答は1つだけ）			
			1 かなり不安を感じる			
			2 どちらかと言えば不安を感じる			
			3 どちらかと言えば不安は感じない			
			4 全く不安は感じない			